

上伊那音楽教育研究会

ハーモニー

第8号

令和2年2月21日

文責 山口 陽子

♪ 赤穂中学校の伊藤優先生の公開授業から ♪

1月27日（月）に、赤穂中学校の伊藤優先生が、授業を公開してくださいました。2年生の授業でしたが、授業の雰囲気や学習課題の据え方など、とても参考になりましたのでご紹介します。



《題材名》 「オリジナルの旋律をつくろう」

《本時までの概要》

- 前時・・・基本の旋律をもとに、和音を構成する音から自分のイメージに合った音を選んで旋律をつくった。
- 本時・・・リズムを変えたり使う音を加えたりすることを通して、自分の作った旋律の「はじめの2小節」をアレンジする。

《私にとってのポイントとなったところ》

- 視覚支援のわかりやすさ

学習課題が端的にわかる導入でした。基本の旋律と、前時に作った旋律の楽譜を、黒板に並べて示すことで、生徒がその違いを視覚的に理解し、本時の課題把握へとつなげていました。先生が課題を与えるのではなく、「生徒が課題を発見する」導入場面だったので、追求の見通しがしっかりもてたと思います。

- ペア学習で補う音楽的要素

ペアで、相談しながら旋律のアレンジを行っていました。自分の考えた旋律を楽譜にする際、音符や休符の選び方等で迷ったら、すぐに相談できる相手がいるので、安心して学習できていました。

- 困ったときのお助け船としての先生のあり方

頭に浮かんだ旋律を楽譜にするのが難しいとき、伊藤先生が側にきて支援してくださったことで助けられた生徒がたくさんいました。専門的な要素については、すぐに相談できる態勢を整えておくことが大切だと思いました。また、伊藤先生のお人柄が優しいので、生徒も安心して相談できていました。

音楽づくりの授業は難しいというイメージがありますが、授業を参観させていただき、具体的なイメージを思い浮かべることができたので、本当にありがたかったです。学ばせていただいたことを、これからの授業に生かしていきたいと思います。伊藤先生、お忙しい中授業を公開して下さい、本当にありがとうございました。



♪アンサンブル交歓会♪

2月8日(土)に、駒ヶ根市文化会館にてアンサンブル交歓会が行われました。新型コロナウイルスも気になる中、どの学校もマスクの着用を徹底するなど、備えをしっかりとってくださいました。

今回から各パートの人数制限がなくなり、よりたくさんの児童・生徒が参加できるようになったため、これまでよりいろいろな形態の演奏を聴くことができました。どの学校の演奏も、一生懸命練習してきたことがよく伝わってくる演奏で素晴らしかったです。透き通ったハーモニーが会場中に響き渡っていました。

当日は保護者の方々もたくさんお越しください、子どもたちの演奏に聴き入っていました。一つひとつの演奏が終わるたびにため息や「素晴らしいね」「すごいね」などの感想が聞こえてきました。

演奏終了後、審査委員長の荒川昌美先生からは、お褒めの言葉をいただきました。そして、更により良い演奏にするために、次のようなアドバイスをいただきました。

- ① よく音を聴くこと
- ② 胸から上だけで歌う浅い発声ではなく、お腹を使った深い発声を目指すこと
- ③ 何よりも演奏する人が楽しい気持ちで歌うことが、聴いている人に伝わること
- ④ 選曲は非常に大事なので、自分たちのレベルに合った曲を、時間をかけて選ぶこと

参加された児童・生徒の皆さん、素晴らしい演奏をありがとうございました。そして、引率の先生方、大会の運営に携わって下さった役員の方、本当にお疲れ様でした。また来年が楽しみです。

♪ 総会・冬季研修会 ♪

2月15日(土)に伊那東小学校にて、今年度の上伊那音楽教育研究会の総会及び冬季研修会が行われました。最初に、今年度の事業報告が各部より行われ、承認されました。運営にあたってくださった役員の方、本当に一年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

続いて、冬季研修会が行われました。講師に佐藤創先生をお迎えし、リコーダーの魅力や指導法についてたくさん教えていただきました。

最初に、先生の素敵な演奏を聴かせていただき、一気にリコーダーの素晴らしい世界に引き込まれました。

研修の中で佐藤先生に教えていただいたことを、簡単にまとめてみましたので、欠席された先生方にも参考になれば幸いです。



《児童生徒へのリコーダーの講習会～佐藤先生が行っている方法～》

- ① まず先生が演奏をして児童や生徒の心をつかむ
- ② 様々なリコーダーの紹介 (クライネソプラニーノからコントラバスまで)
- ③ 実際の指導 (タンギングなど)

《タンギングの効果的な指導法》

カ行、タ行、ラ行の簡単な言葉で舌を鍛える。「トトロ、トロロ、トコロ、タラコ」など、カ行とタ行とラ行を組み合わせた言葉をだんだん早口にしながら繰り返し唱える。最初は有声音で言い、慣れてきたら無声音で言う。

トゥという発音は日本語には無いので、このような指導が効果的とのことでした。

《指の運動～穴をふさぎきれない児童のために～》

耳のそばで親指と人差し指をパチパチ合わせ、その音を意識する。

きらきら星などの簡単な曲を、吹かないで指の音だけで演奏してみる。→音に注目して、しっかり穴をふさごうとする意識が身につくということでした。

《ピアノの伴奏やCD伴奏と組み合わせて合奏を楽しむ》

変化球として、面白い伴奏のCDもあるので、それらも使うと楽しく演奏できるということでした。

《ハンドベル奏法でみんなで楽しく合奏》

グループごとに1音を担当し、ハンドベル形式で合奏してみると楽しい。実際先生たちで行わせていただきましたが、とても楽しかったです。

(例 ちょうちょう ぶんぶんぶんなど)

最後に、先生方で何曲かアンサンブルを行いました。とても楽しかったです。素敵な演奏をありがとうございました。熱心にご指導して下さった佐藤先生、研修会を企画して下さいました塩澤先生をはじめとする企画部の先生方、朝早くから会場を開けて下さった伊那東小学校の先生方、本当にありがとうございました。そして、参加して下さった先生方、本当にお疲れ様でした。



1年間、広報『ハーモニー』をお読みいただき、誠にありがとうございました。

そして、原稿依頼に快く応じて下さった先生方、本当にありがとうございました。

卒業式を控え、年度末の忙しい時期になりますが、先生方どうかお体を大切にお過ごしください。